ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH　2006年4月13日　第781号

金澤北ロータリークラブ

春到百花開ーはるに いたって ひゃっか ひらく

木庵 性瑫禅師（もくあんしょうとう　ぜんじ）

生没年：1611-1684　宗派：黄檗宗

寺院：黄檗宗 萬福寺2世 江戸増聖寺 長崎福済寺 紫雲亭

もともとこの一句は「百花春到為誰開ーひゃっか　はるにいたってたがために　ひらく」という方が普通である。

花は誰のために咲く等という事を全く意識せず、おのずとその時が来れば一寸のくるいもなくあたりまえのように蕾を開き、香りが私達を楽しませてくれている。そしてその自然のあり方、ふる舞いが人の心を豊かにし、世の中を平和にするのである。

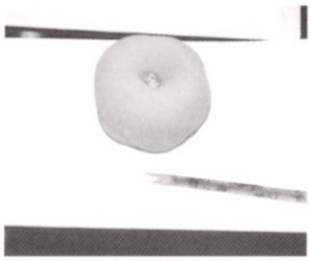
写真 高島 聰

水本（みずもと）　寛（ひろし）

有限会社　水本製菓
平成９年金沢の和菓子名工賞を受賞

昭和60年全日本馬術大会へご臨席の秋篠宮殿下や平成４年国民文化祭へご臨席の皇太子殿下のお菓子注文を賜り、また茶道家元からの注文もあり、和菓子製造技術を極め和菓子処金沢の名声を高めている一人である。現在石川県菓子工業組合の理事として尽力。

お菓子銘　井出の里（山吹の花）



京都と奈良の中間に位置し、井出の山吹、玉川の水と歌にも詠まれた自然豊かな土地。お菓子の世界では山吹の代名詞になっている。

大田道藩と山吹の花

鷹狩りに出かけた道藩が、ひどい雨に降られてしまい、蓑でも借りようと近くの農家に立ち寄った所、一人の娘が出てきて、黙って山吹の花を差し出した。道藩は意味もわからず不思議に思い花を城に持ち帰り、その話を家臣にしたところ、娘の意が、山吹の花にちなんだ古歌（七重八重　花は咲けども山吹の実の（蓑）一つだに　無きぞ悲しき）にあったことを教えられる。道藩は少女の機知に感心するとともに、自分の教養の無さを恥じ、その後大いに学問に励み、文武両道を備えた名君と言われるようになったという。

臥竜庵社中

京都洛北ＲＣ・金沢北ＲＣ合同お花見夜間例会

企画委員長　川 面 正 雄

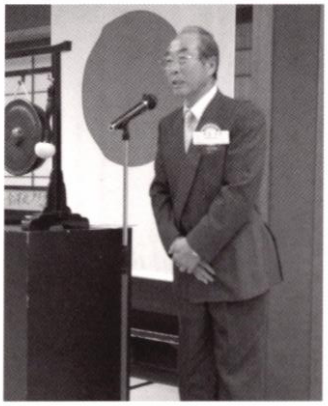
硬かった桜の蕾も開花予想日となってようやくほころびの気配をみせるようになり、発足当時からの友好クラブである京都洛北ロータリークラブをお招きしての合同お花見例会に花を添えることとなった。

合同例会は、和菓子の製作実演と呈茶の第一部に続き、場所を松魚亭二階和室に移し、銅鑼の音で厳かに始まった。まず、高畠金沢北ロータリークラブ会長が「遠路はるばるお越しくださりありがとうございます。今日と明日、心ゆくまで金沢をお楽しみください。そして両クラブの友好関係がなお一層深まるよう努力していきます。」と歓迎並びに決意の言葉を述べ、これを受ける形で、澤邉京都洛北ロータリークラブ会長が「開会の銅鑼の音はいつ聞いてもすばらしく、厳粛な気持ちになる。両クラブはほぼ同じ時期に発足し、すぐに友好関係となった。以来30余年、諸先輩の努力で変わらぬ友好関係を築いてきた。今後も末永く続けていきたい。」と御礼の言葉を述べた。

ニコニコボックスの発表のあと、若林京都洛北ロータリークラブ友好委員長の乾杯の音頭で宴会が始まり、これまでの友好活動の話題や次の日のゴルフコンペや観光旅行の話題で盛り上がり、会場のあちらこちらに笑いの渦が巻き起こっていた。

名残惜しい宴会も、米澤(眞)金沢北ロータリークラブ会長エレクトの閉会の挨拶に続き、「手に手つないで」の合唱のあと、今後益々の友好関係継続を誓いあいお開きとなった。

高畠会長



澤邉会長

2006～2007年度　委員会名簿

委員会	委員長	副委員長	委員
社会奉仕	小泉	銭亀	内堀、魚住、木村(丹)
環境保全	中村(實)	川口	畠、五十里
地域開発	本岡	(本岡)	深山、橋本
新世代会議	高畠		
国際奉仕	澤田	磯野(進)	森、竹中
ロータリー財団	汐井	高岡	馬場
米山記念奨学会	玉田	田中	坪田
職業奉仕	佐賀	佃	松本、滝、上田
クラブ奉仕	米澤(修)	合田	
例会	山上	本多	辻、堀本、滝川
会員選考	安宅	大澤	松平、木下
企画	高島	木村(功)	二塚、吉井
広報	乙村	的場	渡邊、岡田
修練	長谷川	(長谷川)	越野、大村、俵
親睦	桜田	中田(秀)	川面、中村(芳)、横井、坂口
友好	飯田	越田	濱井、卯野、奥田

第1575回例会

3月30日(木) 雪　12：30～13：30　　松魚亭

1．講　話

会員　佃一成君

「食と健康あれこれ」

2．出　欠

出席40名　欠席26名

出席率60.60％　ビジター6名

3．来訪者（敬称略）

小松東RC　山腰　茂

金　沢RC　冨木昭光　大友佐俊

金沢南RC　神谷清美

香林坊RC　石村都喜雄

みなとRC　中島靖夫

ニコニコボックス

高畠君、勝田君　佃会員、本日はご苦労様です。宜しくお願いします。

佃　君　本日は私のつたない話を聞いていただき恐縮です。会員の皆様、宜しくお願い致します。

川面君　佃会員、本日の講話宜しくお願いします。

汐井君　誕生日のお花有難うございました。

合計7,000円（累計473,000円）

3月クラブ日誌

9日(木) 3月定例理事会　松魚亭にて

第1576回例会（お花見夜間例会）

4月6日(木) 晴れ　18：30～21：00　　松魚亭

1．例　会

①点　鐘

②ロータリーソング「奉仕の理想」

③金沢北RC　高畠会長挨拶

④京都洛北RC　澤邉会長挨拶

⑤ニコニコボックス披露（例会委員会）

⑥乾　杯　京都洛北RC　若林友好委員長

⑦歓　談

⑧閉会の挨拶　米澤眞二会長エレクト

⑨ロータリーソング「手に手つないで」

⑩点　鐘

2．出　欠

出席43名　欠席24名

出席率64.18％　ご夫人17名　京都洛北RC 35名

ニコニコボックス

京都洛北ロータリークラブ

本日は大変お世話になります。どうぞ、宜しくお願い致します。

京都洛北RC 澤邉会長、佐野幹事、山田会長エレクト、広崎副会長、若林友好委員長

大勢がお世話になります。

高畠君、勝田君　京都洛北RC澤邉会長、会長エレクト、副会長、幹事を始め、大勢の会員の皆様、ようこそおいで下さいました。今晩、明日と、短い時間ではありますが、共に友情を深め合いましょう。また今日この企画をしていただきました若林、松本両友好委員長、諸関係の皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

米澤(眞)君、松田君、渡邊君　京都の方をお迎えして。

上田君、濱井君　洛北の皆さん、ようこそ。昨年は大変お世話になり有難うございました。お元気で再会でき、大変嬉しく思います。

松本君、飯田君

京都洛北RCの皆様、長旅お疲れ様でした。

佃　君　京都洛北RCの皆様、ようこそご来沢下さいました。今夜は楽しい懇親会になりそうですね。また、会員の皆様、4月8～9日は、いよいよ第20回浅の川園遊会です。皆様のご支援を感謝しています。

合計87,000円（累計560,000円）

講　話　予　定

4月20日(木)

演題：お酒と健康

会員　川口善樹君

4月27日(木)

講師　沢野伸浩氏　星稜女子短期大学　助教授

会　　長：高畠　菊丸　　SAA：吉井　清

会長エレクト：米澤　眞二　　会　計：濱井　弘利

副会長：小間井宏尚　　広報委員長：中村　芳明

幹　事：勝田　浩之　　会員数：68名

副幹事：松田　忠秋　　クラブ設立：昭和48年10月3日

例会日：木曜日　12：30～13：30

例会場：松魚亭　金沢市東山1－38－30

TEL〈076〉252-2271　FAX252-2273

事務局：金沢市尾山町9－13・金沢商工会議所内

TEL〈076〉222-2525　FAX224-2882

E-mail:k-kitarc@aqua.hokuriku.ne.jp

この会報は再生紙を利用しています。